

全八木地区みんなの広報紙



第 36 号

令和5年3月1日発行

発行所 八木地区市民協議会
発行 藤本 正博
連絡先 市立八木市民センター
☎443-6848

広報紙配布部数 (令和5年3月現在)

Table with 2 columns: Distribution area and number of copies. Includes areas like 西大路町 (730 copies), 東大路町 (55 copies), etc.

八木地区市民協議会 活動報告



会長 藤本 正博

令和4年度八木地区市民協議会会長を務めさせていただきました。まず小松里町藤本正博です。平素皆様方には市民協議会活動に対し暖かい、厚いご支援、ご協力を頂き大変ありがとうございます。当協議会では子供からお年寄りまで、すべての皆様が安全で安心な住みよい街づくり、生き生きとした八木地区を目指し、環境、青少年、福祉、文化体育、広報、人権の六部会がそれぞれのテーマに独自性を発揮し取り組んでいるところです。

『地車祭りが帰ってきました。』八木地区の今年一番のトピックは地車祭りです。コロナウイルス感染拡大により二年間にわたり中止でしたが、今年こそという強い気持ちを持ち皆で取り組んできた結果、念願が叶い無事祭礼を実施することができました。子供たちから大人までの明るい笑顔、元気な掛け声、活気のある街づくりには地車祭りは欠かせません。関係者の皆さんお疲れさまでした。ご努力に感謝いたします。ウイルス感染の終息までまだまだ気を抜くことはできませんが皆で知恵を出し合って頑張っていきたいと思います。



(2022年11月17日)

久米田池夏祭り



久米田池夏まつり 実行委員会 会長 岡野 輝秋

3年振りとなる、夏まつりを8月6日(土)にコロナウイルスの感染拡大の動向を視野に入れないながら、開催することを決定しました。



当日は晴天に恵まれ、来賓として岸和田市長さん、地元市会議員さんにも出席して頂きました。来賓の挨拶に続き、泉州音頭を皮切りに、うた・踊り・演奏、また池周辺では、陶製ランプシェード等、フィナーレの花火の打ち上げでは、3年前の数倍近くの方が見物に来ていただき大いに盛り上がりながら、無事終わることができました。

福祉部会活動報告



福祉部会長 山中 豊子

令和4年9月10日(土)八木市民センターに於いて、八木三校区合同ボランティア・高齢者研修会を開催致しました。

令和4年度部会長を務めます。小松里町の小南です。どうぞよろしくお願いたします。



人権啓発部会長 小南ひとみ

人権啓発部会活動報告

今年度の研修のテーマは「高齢者の住まいについて」突如住まいを失った時にできること」と題して地域包括支援センター久米田の三林氏、吉村氏、協力不動産店の方を講師にお迎えしてお話をお聞きしました。

研修会で学んだことを、少しでも身近な所から発信することが出来ればと思っております。今後とも皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いたします。

どの研修会でも地域での関わりが必要だと感じました。地域の中で誰かに声をかけてみる。その一言が困っている人の第一歩になるかもしれません。



や障害者等配慮が必要な方の家探しを行う許可を受けた団体で、岸和田市社会福祉協議会や今回研修講師で参加された不動産店2社も指定を受けています。

役員名簿 (Staff Roster) table listing names and positions of board members and staff.

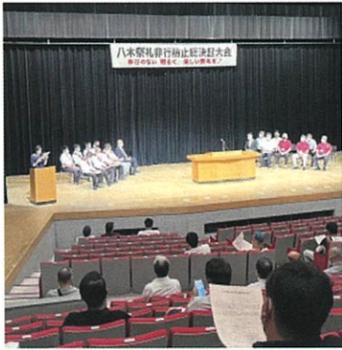
青少年部会活動報告



青少年部会長
松井 勝己

本年度、部会長を務めて5年目に成ります箕土路町の松井です。どうぞ宜しく御願います。

さて、本年度で八木祭礼非行防止決起大会を始めて19回目になります。今年はコロナ感染の為、2年間中止にさせて頂き今年は3年ぶりに八木祭礼非行防止決起大会を迎える事が出来ましたのも皆様の御理解、御協力のおかげだと思っています。



役員会で今年開催するべきなのか、今年も中止にするべきなのか迷いました。しかし、いろんな人と協議をした結果、今年も予定通り開催する事を決定し、開催する事を決めました。

また、今年も八木祭礼も無事に行われ八木地区全体的に活気が出たのでは無いでしょうか。

岸和田の町はだんじりの町です。よく言われるのが「子供は大人の背中を見て育つ」と言われますが岸和田の子は曳行団体のお兄さんやおっちゃんの子を見て育つと言っても過言では無いと思います。青少年の子達に良き背中を見せて頂き子供か

らお年寄りの方まで、みんなが楽しめる八木祭礼に成る事を信じ願っています。

(2022年11月24日)

環境部会活動報告



環境部会長
西浦 吾一

環境部会では、各町会の部会の方々に御協力を頂き、2ヶ月に一度埋め立てゴミの回収や、該当月には、刃物及び廃油の回収に御尽力を頂いております。

埋め立てゴミを持参される方の中には、ゴミの分別に高い興味を示される方もいらつしやう、その意識が広く浸透するように、もっと努力をしていこうと思っております。

また毎年の岸和田市各地区環境部会の方々の環境施設への視察研修にも積極的に参加し、ゴミの処理方法等を勉強させて頂き、今後の活動に活かしていきます。



私の町会では、祭礼団体が中心になって、毎月一度の廃品回収を入れており、その効果もあって、若年層からもリサイ

クルに対する意識が高まってきているように感じられます。各町会でも環境部員以外の方々も積極的に美化運動にご参加頂いていると聞いております。皆様にご協力頂きましてありがとうございます。今後ともご支援お願い致します。

(2022年11月)

連合青年団活動報告



連合青年団会長
森下 翔太

今年もコロナウイルス感染予防を徹底した上で、3年ぶりに八木祭礼を開催することができ、子どもからお年寄りの方まで全員が楽しめる祭となったと思っております。

連合青年団では、毎年八木地区各町の青年団とソフトボール大会等を通じて交流を図り、一年を通して全町の親睦を深める為、努力しております。

また、八木地区の青少年活動につきましても、青少年指導員の方々と意見を交換していき、これからの若い力を伸ばすべく、いけるようお力添えさせて頂けたらと考えております。

最後にになりましたが、私たち連合青年団がこの先も八木地区各町と連携をとり活気のある地区となるよう努力してまいります。また地域の皆様の多大なご理解とご協力にこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。これからも八木地区のさらなる発展の為、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願います。

(2022年11月20日)

連合子ども会活動報告



八木連合子供会会長
西口 香奈子

日頃より、八木連合子供会の活動にご支援とご協力頂き誠に有難うございます。

2019年から続くコロナ禍といわれる社会状況の中、子供達の活動の場が、制限または失われている現状です。

八木連合子供会では、コロナ禍の影響により、内容も様々な制約を受けざる終えない状況下の中ですが、時間を午前中までと短縮する形で3年振りの5月15日に球技大会(ドッチボール大会)を無事に開催することができました。

球技大会では各町接戦を繰り広げられ、悔しい思いをした子どもや嬉しい思いをした子どももあり、各町との交流も深まり良い思い出になったことと思います。

運動会は残念ながら、コロナ感染も増加傾向にあること、子供達の安全を最優先に考え、今回は中止することとなりました。

来年度は球技大会、運動会共に開催出来る事を願っております。

又、開催にあたりましては、連合役員の方々、各校区長、副校区長、各子供会の皆様方のご協力のもと無事に終えることが出来ました。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。コロナ禍ではありますが、こ

れからもこの活動を継続して子供達の成長に少しでもお力添え出来るようになれば幸いです。今後とも八木連合子供会の活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2022年11月20日)

広報部会活動報告



広報部会長
杉原 富人

2022年は岸和田市制施行100周年であったこともあり、広報部会の活動として、昨年2回公開講演会を開催しました。いずれも岸和田市立図書館および岸和田市図書館友の会との共催、池尻町後援であり、場所は八木市民センター第1講座室で実施しました。これらの概要を以下に報告します。

1.「中世久米田寺の役割―久米田寺文書を中心に―」
講師：大澤研一氏(大阪歴史博物館・館長)、2022年3月5日、14:00~16:10。

テレビ岸和田様の協力により、モニター放送での第一会場も含めて79人の参加者が質疑応答も含め、最後まで熱心に大澤先生の講演を聴き入りました。

講演は、2020年に南北朝期の北朝文書など17巻・116通が国指定重要文化財に追加され、「久米田寺文書」に包含された経緯から始めて、「II. 久米田寺の成立」、「III. 平信兼と和泉国・久米田寺」、「IV. 久米田寺の画期と兼学寺

院化」、「V. 祈願所としての久米田寺」と、「久米田寺文書」からの出典を紹介されながら詳しく説明されました。

NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』に登場する伊豆国目代山木兼隆が、平信兼(和泉国司)の嫡男であったことなど、大河ドラマの場面(第4回「矢のゆくえ」)を思い起こしました。

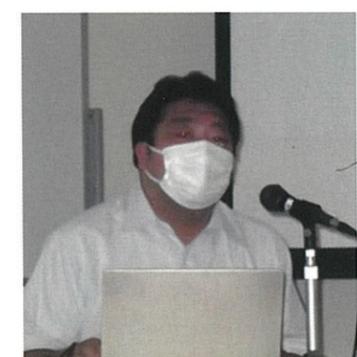


和泉国を超えた役割を果たしていたことを再認識しました。「本文書は、中世の政治史、仏教史、寺院史、庄園制などにかかわる多様な内容を含んでおり、久米田寺を中心として、和泉国の中世地域史を多様な視点から考えることができる歴史学上非常に重要な寺家文書といえる。また、原資料による研究があまり進んでいない南朝発給文書を多く伝えており、古文書学上においても貴重である。加えて、久米田寺で修学をした僧侶たちによる教学の広がりなど、他寺院に伝存する史料を踏まえることで、一寺院の歴史にとどまらない中世仏教史を考察しうる貴重な史料を久米田寺文書は有している。」(大阪府教育委員会「有形文化財久米田寺文書「指定調査書」(2019年3月22日)抜粋)

地元八木地区に住む私は、これら「久米田寺文書」を読み下す中で久米田寺を介して郷土の歴史を掘り起こす必要を感じた一日でした。

2.「久米田寺・星まつりの背景―中世の星辰信仰と密教―」
講師：細田慈人氏(歴史館いずみさの・元学芸員、NPO法人文化遺産の世界・理事)、2022年8月14日、14:00~17:30

また、鎌倉時代には安東運聖(あんどうれんしょう)による寺の復興以降、名だたる僧侶たちによる華厳・戒律・真言の兼学道場としての活動、中国(宋)からも4名の僧侶が久米田寺で学び、寺域内に茶園まで所有していたことなど、中世久米田寺が



新型コロナウイルス・オミクロン株が蔓延する中、お盆休日もかわらず41名の方が参加されました。予定時間を30分延長しての細田先生の講演と質疑応答に皆さん最後まで熱心に聞き入りま



久米田寺では毎年節分に厄払護摩祈願大法要(焚き上げ)「星まつり」が実施されます。古代、中世久米田寺の歴史と役割を九条家との関りに焦点を当て、日根野荘の荒野開発も含めて概括しました。その後、この「星まつり」の背景を、古代の人々の自然崇拜から王権での自然信仰の在り方の変遷、その中に神祇信仰、陰陽道、密教等による星辰信仰へのつながり、祈祷、祭祀が行われたことを確認して、密教と修験道を繋いだ星辰信仰とは何か、どのような意味があるのかを問う中で、詳しく解説されました。さらに、久米田寺所蔵の「星曼荼羅」を「星まつり」行事にも使用した意味を指摘し、宿曜経を介して陰陽道との

習合による密教の星辰信仰化の中で久米田寺の独自性を解説されました。また、古文書に残らない中世の民衆社会での信仰における久米田寺の役割も指摘されました。

なお、参加者のアンケートにも、「内容がぎつしり詰まって充実した講演でした。」「久米田寺がとても重要なお寺であった事、九条家が関わっていた事、とても面白かった。先生のお話はとても面白く、もっと聞きたかった。」「中世に再興味を持ちました。」等々、多くの感想が寄せられました。

(2022年11月23日)



小・中学校の活動報告

久米田中学校



校長 田中 裕雄

昨年度は、八木北小学校でお世話になりました。

本年度からは、久米田中学校でお世話になっていきます。

数えると14年ぶりの久米田中学校になります。4月1日に校長室に入ると岸和田市の中学校駅伝の女子優勝旗が飾られていました。そこにつけられていた優勝旗が書かれたリボンを見てびっくり。「平成19年度優勝久米田中学校」と私の字がそこにありました。

さて、久米田中学校は、教育



目標を「知、徳、体調和の取れた生徒の育成」として、令和4年度の教育活動を展開しています。

ただ近年世界中を苦しめている感染症の影響で、以前のような制限のない教育活動を推進することがなかなか難しい状況が



あります。しかし、ワクチンの開発や感染症への対応が進み、生徒の活動をできる限り制限することなく、以前のような形で進めていけなかつたと考え、様々な活動を検討してきました。

3年生の修学旅行も以前と同じ関東方面に戻し、富士山の雄姿に感動し、二日目は、恒例だったデイスニーランドへ行きました。ランド内を生き生きと歩き回っている久米田生を見るとき、うれしくなりました。

2年生の職場体験は、受け入れてもらう職場に迷惑がかかる可能性があるかと判断中止。その代わりに秋にキツザニヤに行く計画を立てています。

体育大会は、何としても今年そろうて行いたいと思い、1学期から検討を重ねてきました。そして、カウントダウン表を各学年の目立つところに掲出し、雰囲気盛り上げながらその日を迎えました。3年生にとっては、最初で最後の全学年そろうての体育大会。すべての生徒が懸命に走ったり競技に打ち込む姿は、本当に素晴らしいかったです。

まだまだ、感染症については、対応が必要な場面も出てくる可能性があります。生徒の活動については、可能な限り以前の

形を追求するとともに、変更したほうが良いと考えられるものは、勇気と決断をもって変革していこうと思います。

地域のの方々には、いつもお世話になっております。今後とも久米田中学校の活動にご理解ご協力いただけるとありがたいです。

追伸。本年度は久米田中学校のホームページ刷新に取り組んでいます。よろしければご覧ください。

(2022年10月4日)



八木小学校・幼稚園



校長 関本 安紀子

令和4年度 学校の教育活動

今年度四月に八木小学校幼稚園に着任しました関本です。地域の皆様には、平素より、地域一丸となつてご協力いただき、

本校園の教育活動にご理解ご支援いただいておりますこと、厚く感謝申し上げます。

コロナ禍三年目、学校園では感染対策を講じながら教育活動を進めております。そのため全校が一同に会する機会は減り、代わりにリモートによる始業式や終業式、各月の児童集会が定着しました。リモート集会の始まり朝の挨拶「おはようございます」では、全校児童の元気な声、あちらこちらの教室から中庭に響き渡り、清々しく明るい雰囲気を醸成しています。ICT機器(一人一台学習用タブレットパソコン)を、子どもたちは、学習でも積極的に活用し、ドリル問題、資料づくり、学習クイズ作成などにチャレンジし、情報機器に慣れ親しみながら学びを深めています。



大きな行事の一つは修学旅行。事前に六年生が全校児童に平和の大切さを伝え、皆で心を込めて鶴を折りました。この折鶴をヒロシマ原爆の子の像前に捧げ「HEIWAの鐘」を歌い平和セレモニーを実施しました。子どもたちの透き通る歌声が響き、耳を傾け静かに立ち止まる方々の中にハンカチで涙をぬぐう姿がありました。世界で起きている戦争・命が奪われるニュースが頭をよぎり涙がこぼ

れます。戦争の恐ろしさや平和の大切さを改めて感じ、子どもたちが過ごす未来永劫、世界中が平和でありますようにと、切に願いました。この他の行事としては、七月に三年ぶりの学校水泳、八月に五年生が海洋センターへ臨海学校、九月に幼稚園が遠足で天王寺動物園、十月に運動会、十一月に音楽会。運動会や音楽会では、成長を感じる場面がたくさんありました。例えばダンスや合奏、最初は上手くいきません。スモールステップで練習に取り組み「今日習った所ができた」「友だちと教え合つて楽しい」「みんなが揃うとキレイ」など、努力を重ね協力することで、達成感を味わい仲間と喜びを分かち合うリアルな経験をさせる機会にも恵まれました。

(4面へ続く)



この他に、PTA各種委員さんにご協力いただいた環境美化活動、幼稚園フェスタやふれあいフェスタでは子どもたちが楽しみ喜び企画を協議しながら進めていただき、全て予定通りスムーズに実施できております。二学期後半には、民生委員さんと赤い羽根共同募金活動、泉州地域の伝統工芸を体験する桐箱づくりを計画しています。



人間関係が希薄になってきたと言われて久しいですが、地域の繋がりを大切に伝統ある祭礼が脈々と受け継がれている岸和田市は、二〇二二年市制一〇〇周年、八木小学校は創立一四六周年を迎えました。校舎の防災機能強化大規模改修工事（七月～十二月）が実施され、外観は美しく蘇ります。この伝統ある八木小学校園で育つ子どもたちは、地域の宝、将来の宝です。この先、子どもたちが歩んでいく世界は、情報化・グローバル化・多様化等が加速的に進化した未来を見通しにくい「予測困難な時代」とも言われます。この大きく変化する未来を生き抜く土台づくりとして、学校園で

は教育目標「生き生きとした心豊かな子どもを育てる」を掲げ、子どもたちが知・徳・体・バランスよく成長できるよう教職員一丸となって励んでまいります。地域の皆様には、引き続きご理解ご支援のほど、どうぞよろしく願います。

（2022年11月25日）

八木北小学校・幼稚園



校長 田邊 真理

令和四年度より八木北小学校に赴任してまいりました田邊真理です。平素は、本校園の教育活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。学校教育においては、「生きる力」を育むべく、学習意欲を高め、知識の活用やコミュニケーション能力の向上を図る活動を行っています。また、社会の変化に対応する力を育む教育も必要であり、そのような力を育むために、本校園では、一年

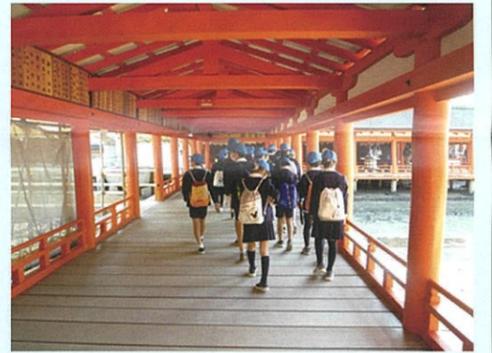


間を通してさまざまな教育活動を進めています。日々の教育活動を通して子ども達は大きく成長します。しかしながら未だ収束の見えないコロナ禍にあり、制限をしながらの活動は続いています。

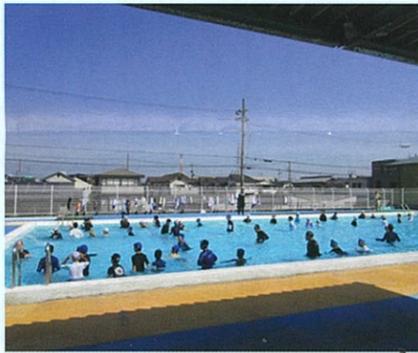


日々の検温に消毒、マスクの着用。給食は、黙食。教室は常に換気を行う。熱中症の心配がある時には、マスクをとり、人と人の距離をとって活動する。密にならないよう運動場の集会、感染者の状況によってリモートでの集会。以前とは全く違った生活が今では当たり前前の生活となりつつあります。行事についても同じです。感染状況を見ながら対策を講じて行っています。今年度はすでに一学期と二学期に授業参観を行いました。感染対策としては、各家庭での検温・健康チェック、マスクの着用、玄関での消毒、三時限授業の分散で密を防ぐ形で行いました。昨年度はできなかった授業参観。子ども達はおうちの方が見に来てくださり、とてもうれしそでした。

十月十六日の運動会。今年度も人数制限をし、短時間の開催にするために各学年演技を二つ



に減らしました。当日はいい天気に恵まれ、一人ひとりが一杯力を発揮することができ、思い出に残るいい運動会になりました。その他にも、春と秋の校外学習、五年生の臨海学校、六年生の修学旅行など、それぞれの行事を楽しむことができました。今年度は、三年ぶりに学校水泳も行われ、夏のプールに歓声が戻ってきました。



学びを保障するという観点から、コロナ禍で制限していた活動を本来の形に少しずつ戻しつつ、工夫して活動を行っています。これからも感染対策を講じながら子ども達一人ひとりが輝き、笑顔があふれるようさまざまな活動を行っていきたくと考えています。ご理解・ご協力をお願い致します。

（2022年11月18日）

八木南小学校・幼稚園



校長 山下 善久

令和4年4月より本校園の校長を務めさせていただいております。平素は本校園の教育活動に対して、ご理解とご支援をたまわり、誠にありがとうございます。

わたたくしは教員出身ではなく、民間から公募で採用されました。実はこの仕事に就く前は吉本興業(株)に24年間勤務して、所属タレントのマネージャー、音楽番組やイベントの制作などの芸能関係の仕事や、変わったところでは横浜港のレストランクルーズ船事業など、様々な職務を経験いたしました。

これまでの10年間、自分の経験を生かして、学校園が子どもたちにとって、安全安心で楽しい場所となるように努力してまいりました。八木南小学校・幼稚園でも、精一杯努力いたしますので、ぜひ、よろしく願っています。

さて相変わらずコロナ禍が続いており、いろいろ制約がある中で教育活動を行っております。新たな取り組みも進められております。タブレットPCの授業での導入は3年目を迎え、子どもたちが課題を仕上げるためにタブレットPCを活用して調べものを行うことなどは、もう日常的な授業の風景となっております。また月曜日の朝に行われる児童集会も、タブレットP

cと大型モニターを活用してインターネットによるオンライン集会形式で行うことが多くなっております。このような情報機器の活用は今後ますます進んでいくと思われれます。

また昨年度は中止したり、形を変えたりして行ってきた教育活動が、少しずつ元の形を取り戻しております。

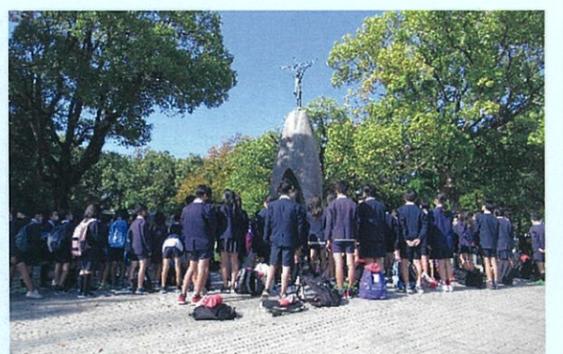
日数は少ないながらも3年ぶりに夏のプール活動を再開できました。また昨年は日帰りで行った5年生の夏の臨海学校は宿泊型で実施できました。

十月に行った運動会は、保護者の皆様には、中学年・低学年・幼稚園、高学年の順番に分割して、観覧していただきましたが、子どもたちは全学年が運動場で一堂に会する形で実施いたしました。



修学旅行も一泊二日の日程で、広島・姫路方面に行き、大きな事故もなく無事に行うことができました。

また幼稚園では地域の皆様にご協力いただき、焼きいも体験を行うことができました。本当にありがとうございます。今後も子どもたちが楽しく学



校園生活を送れるよう努力いたしますので、本校園の教育活動へのご理解とご支援を、よろしくお願い致します。

（2022年11月22日）



編集後記

第36号「いきいき八木」を発行するにあたり、お忙しい中にもかかわらず、原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。本号も多くの八木地区の方々にお読みいただければ幸いです。

さて、岸和田市には2つの大きな前方後円墳がある。規模が全国34位の摩湯山古墳（全長200m）と101位の久米田貝吹山古墳（全長135m）である。これらは古墳時代前期（各々4世紀後半と4世紀末）に造られたが、ヤマト政権やその後の久米田池築造との関連はあるのか？あるのなら、それは何か？この問題を解く糸口となる公開講演会を2023年度に計画している。ご期待ください。

広報部会長 杉原 富人